

令和3年度地域少子化対策重点推進交付金(令和3年度補正予算)実施計画書

(市町村分) 個票

自治体名

鎌ヶ谷市

(都道府県: 千葉県)

事業メニュー	優良事例の横展開支援事業		
区分	機運醸成の取組		
関連事業メニュー	2.2.3 主に若い世代に対し、結婚、妊娠・出産、子育て、仕事を含めた将来のライフプランを希望どおり描けるよう、その前提となる知識・情報を提供し、考える機会を持たせる取組		
個別事業名	ライフデザイン事業	新規/継続 (一般財源での実施も含む)	継続
実施期間	交付決定日 ~	令和5年3月31日	事業開始年度 平成29 年度
対象経費支出予定額 ※(注)1	285,000		円
自治体における少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付け ※(注)2	<p>鎌ヶ谷市総合基本計画前期基本計画では、少子化対策として重点プロジェクトを設定し、未来を担う子どもとその家庭の支援及び子どもを産み育てやすい環境を構築するため、①妊娠・出産・子育て期の家庭に対する施策の重点化②安全で安心な教育環境の確保③生きる力をはぐくむ特色ある学校づくりを推進し、子育て世代が「住みたい」「住み続けたい」と思えるまちづくりに取り組むこととしている。</p> <p>また、鎌ヶ谷市子ども・子育て支援事業計画においても、①すべての子どもが健やかに成長できるための支援②きめ細かな支援が必要な子ども・子育て家庭への支援③子どもを産み育てる家庭への支援④社会全体で”子育て”を支えるための環境整備に取り組むこととしている。</p> <p>一方、地域の実情として、平成25年度の婚姻数520人、人口1,000人あたりの婚姻率4.8人、出生数878人、合計特殊出生率は1.33であったのに対し、令和元度は、婚姻数549人、人口1,000人あたりの婚姻率5.1人、出生数688人、合計特殊出生率は1.22となっており、婚姻数及び婚姻率は増加傾向にあるが、出生数及び合計特殊出生率は減少傾向にある。</p> <p>その中で本事業は若い世代の結婚、妊娠、出産への希望を叶える取り組みとして、若い世代に対し、早い時期から自分の希望に沿ったライフプランを考える機会を提供し、将来の不安を軽減できるよう、ライフデザイン教育を実施するものである。</p>		
個別事業の内容	<p>(個別事業の内容) ※(注)3</p> <p><個別事業における現状と課題></p> <p>鎌ヶ谷市においては、ライフデザイン事業として平成29年度より、新成人や新規に婚姻する世帯等を対象にライフデザイン啓発冊子を配布するライフデザインの普及啓発と、小学生～高校生を対象としたライフデザイン教育を含めた思春期教育および乳児ふれあい体験事業に取り組んできた。</p> <p>若い世代に対し結婚や妊娠・出産など将来について考える機会を提供してきたが、新成人等に向けた啓発冊子を用いた普及啓発については、情報提供後の効果検証がしにくく転出等により追跡調査も困難であることが課題となっている。また、乳児ふれあい体験事業においては、参加協力できる子育て世代の親子の確保が課題となっているほか、令和2年度、3年度については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、実施体制の確保ができず、実施を中止したところである。</p> <p><課題への対応></p> <p>令和4年度は、学齢期を中心とした対象に向けての結婚、妊娠・出産、育児を中心とするライフデザイン教育により、子育てに温かい社会づくり・気運の醸成に取り組む。</p> <p>また、乳児ふれあい体験事業については継続的に質の高い体験事業を実施できるよう、乳幼児健診や地域子育て支援拠点事業等別事業において事業の周知と協力募集を行い、事業の認知向上と協力できる親子の増加を図るとともに、新型コロナウイルス感染症の拡大状況を注視し、実施に向けた検討を行っていく。</p> <p><取組内容></p> <p>①市内の小中学生および高校生を対象とした乳児ふれあい体験事業を伴うライフデザイン教育</p> <p>市内小中学校や教育委員会と連携し、子どもたちの発達段階に応じた、命の大切さや心身の変化について学習するとともに、未来を描くことにも触れライフデザイン教育を行う。併せて、市内1中学校において乳児とのふれあい体験を実施し、男女とも子育てへの理解を深める。(実施回数:5回 参加者数:市内中学校2年生(1校)160人)</p> <p>また、市内の県立高校2校において、仕事を含めた将来のライフデザインを描き希望をかなえられるよう、知識・情報の提供、啓発冊子を活用し考える機会を提供するとともに、乳児とのふれあい体験を通じて、より自身のライフデザインへのイメージを持てるきっかけづくりとなるよう教育を行うとともに、子育てへの理解を深める。(実施回数:15回 参加者数:市内県立高校2年生(2校)560人)</p> <p>②乳幼児健診等における事業周知・参加協力親子の募集</p> <p>乳幼児健診や地域子育て支援拠点事業等の、乳幼児親子の集まる他事業において、周知用物品の配布等により本事業の周知と協力親子の募集を行う。</p> <p><次年度以降に向けた事業の方向性></p> <p>若い世代への普及啓発効果をいきわたらせるため、乳児ふれあい体験事業を含めたライフデザイン教育を継続的に実施していく。</p> <p><事業内容を検討する上で参考とした既存事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ・岐阜県 ライフプランを考える啓発プロジェクト ・岡山県 「岡山県妊孕性等普及啓発標準プログラム」作成事業 ・文京区 文京ハッピーベビープロジェクト 		

少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※(注)4	KPI項目	単位	目標値	現状値	
		合計特殊出生率のアップ	%	上昇(令和8年度)	1.22(令和元年)
参考指標 ※(注)5	項目	単位	直近の実績		
	合計特殊出生率	%	1.22(令和元年)		
	婚姻件数	件	549(令和元年)		
	婚姻率	%	5.1(令和元年)		
個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※(注)6	KPI項目	単位	目標値	現状値	
	<アウトプット>				
	乳児ふれあい体験事業参加生徒数(中学校・高校分計)	人	720	786(R1実施時)	
	募集定員に対する参加者数の割合(参加対象生徒の出席率)	%	100		
	ふれあい体験事業参加協力親子数(実施各回平均)	組	23.5	23.1(R1実施時)	
	<アウトカム>				
	中学校・高校におけるライブデザイン教育を通じて「人生設計(ライフプラン)について考える機会を持てた」と感じる者の割合	%	80		
	中学校・高校における乳児ふれあい体験事業を通じて、「あかちゃんのある生活について考える機会を持てた」と感じる者の割合	%	80		
	他自治体との連携・役割分担の考え方及び具体的方法 ※(注)7	千葉県で運用する「チーパス・スマイル(スマートフォンアプリ及びウェブサイト)」を活用し、事業の周知について、連携を図る。			
	民間事業者との連携・役割分担の考え方及び具体的方法 ※(注)8	無			
委託契約の有無 ※優良事例の横展開支援事業又は重点課題事業を実施する場合のみ記載	有				
上記「事業内容」について、「地方創生推進交付金」の申請の有無	無				

(注)

- 1「対象経費支出予定額」には、本交付金の対象外経費を除いた対象経費支出予定額(補助率を乗じる前の額)を記入すること。また、金額の根拠となる資料(見積書等)を添付すること。
- 2「自治体における少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付け」には、これまでの自治体における少子化対策の全体像及びその効果検証から浮かび上がった地域の実情及び課題と、それらを踏まえた、自治体における少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付けを記載すること。
- 3「個別事業の内容」には、本個別事業の具体的内容を記載すること。また、事業内容を検討する上で参考とした既存事業があれば、都道府県名又は市町村名、事業名を記載すること。
※個別事業を次年度以降も自立的に発展させるため、事業内容の末尾に必ず次年度以降に向けた事業の方向性を記載すること。
- 4「少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標」については、自治体の少子化対策全体のKPI及び定量的成果目標を達成予定時期を含め記載すること。また、各自治体は少なくとも令和4年度終了時点で、各自治体において効果検証を実施すること。
- 5「参考指標」には、各自治体の合計特殊出生率、婚姻件数、婚姻率を記載すること。
- 6「個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標」には、自治体における少子化対策の全体像の中での本個別事業の位置付けを踏まえ、KPI及び定量的成果目標を達成予定時期を含め記載すること。また、各自治体において効果検証を実施すること。
※過去に関連する事業を実施している場合は、過去に設定したKPIを踏まえたKPIを設定すること。
- 7「他自治体との連携・役割分担の考え方及び具体的方法」には、本個別事業を他の都道府県や市町村と連携のもと実施する場合、その考え方及び具体的方法を記載すること。
- 8「民間事業者との連携・役割分担の考え方及び具体的方法」には、本個別事業を民間事業者との連携のもと実施する場合、その考え方及び具体的方法を記入すること。